

2024年度

『家庭学習の手引き』

桜台中学校学力向上推進委員会

はじめに

子どもたちにとって、新しい時代に必要となる資質・能力のひとつに「学びに向かう力・人間性」があげられます。個人として自立し、心豊かな生活を送るためには「自ら学び自ら考える力」が肝要です。この「自ら学び自ら考える力」は、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、育てていくことになります。そのため、家庭では基本的な資質や能力を培っていただくことです。たとえば、早寝早起き朝ごはんの習慣化、家の手伝い、テレビやゲーム、インターネット、携帯などの使用時間のルール決定、そして家庭学習の定着などです。家庭学習充実のために、ぜひご活用願います。

☆毎日の予習・復習について

～予習・復習の意義について～

中学校では、**自分で学習（自主学习）する意志が重要**です。

小学校のように毎日宿題が出ることはありませんが、各教科の進み方によって宿題が出されま
す。宿題が出された場合は、丁寧に仕上げ、期日までに必ず提出しましょう。

家庭学習には予習と復習があります。

○予習…授業の前日などに教科書を読んだり、単語を調べたりする学習のことです。

○復習…授業が終わった後、教科書を見直す、ノートを整理する、授業でした問題をやり直
す、ワークや問題集をやってみる、といった学習をいいます。特に、学校で配られる
プリントやワークなどを活用しましょう。

※家庭学習時間の関係で、予習をする余裕がないときは、**復習**に力を入れましょう。

※教科書やノートを毎日持ち帰りましょう。次の日の授業予定や持ち物、宿題をメモして帰
りましょう。

☆欠席者支援について

ロイロノートに「授業報告」と「欠席者支援」の
フォルダがあります。その日の授業内容や、次回の持ち物、
プリントの答えなどが入っていますので、欠席したときには
確認してみてください。

1日の記録
()年()組
()月()日()

時間	教科	内容	宿題など
1			
2			
3			
4			
5			
6			

その他の連絡・配布物など

☆「ミライパスポート」の活用

今年度より、「ミライパスポート」という生活ノートを使っています。終礼時に毎日の授業を振り返り、見通しをもって家庭学習の計画を立てましょう。



1週間の授業のスケジュールを把握し、学習の予定を書き込もう。

○「やることリスト」を作ろう

学習の習慣を身に付けるためには、自分の学習を「見える化」することが大切です。勉強時間や進み具合を記録することで、達成感を得ながら計画的に取り組む「段取り力」や「振り返る力」が身に付きます。

☆家庭学習の仕方～

○「机に向かって座る習慣」を付けることが大切です。

○机の周りの整理整頓を心がけましょう。

○プリントの整理をしましょう。

○音楽を聞きながら、テレビを見ながら、携帯を触りながらなどの「ながら勉強」はやめましょう。また、正しい姿勢で取り組みましょう。集中できる環境の方が、効果が上がります。

○復習に力を入れましょう。

はじめに、英単語の復習や漢字練習などの作業からはいると、学習のリズムがつかみやすくなります。

○eライブラリを活用しましょう。

家庭学習で活用してください。当校のホームページからもアクセスできます。

(URL <https://ela.kodomo.ne.jp/students>)

令和6年度 学習評価について

評価の観点 観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つをA・B・Cで評価します。A・B・Cの評価基準、評価材料は教科ごとに掲載しています。

※注意※ A・B・Cの評価基準は記載の通りとしますが、1月（3年生は9月）に実施される大阪府中学生チャレンジテストの結果によって決定される学校評定平均の範囲と一致させるために、得点率の割合を多少変更することもあります。ご了承ください。

評定（5段階）について 評定については5段階で評価します。5段階評定については、次の各観点のA・B・Cの組み合わせで評価を行います。

評定	5	4	3	2	1
観点別評価の組み合わせ	AAA	AAB ABB	AAC BBB ABC BBC	ACC BCC	CCC

《評価基準・評価材料》

【国語】

○ 観点別（A・B・C）学習状況の評価

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 文法を含む知識や漢字を問う問題（テスト） 授業内の取り組み 小テスト 	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 表現力を問う問題（テスト） 授業内の取り組み 小テストなど 	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント・ノート 授業内の取り組み ワーク、ノートなど 小テストなど 	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満

《ワンポイントアドバイス》

- ・漢字や文法など、知識に関することについて数をこなして満足しない。定着したかどうかを確認する。（別日に同じ問題に挑戦するなど）
- ・ワークや白プリントなどを解く際、丸付けをした後、解説までしっかり読む。
- ・文章等を何度も読むことで内容理解に深みをもたせる。

【社会】

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	・ 定期・課題・学力診断テスト ・ 授業内での課題、小テスト ・ 白プリント など	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	・ 定期・課題・学力診断テスト ・ 授業内での課題、小テスト ・ 白プリント など	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	・ 提出物 ・ 授業内での課題、ふりかえり、発表 ・ 小テスト など	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満

《ワンポイントアドバイス》

【すべての分野に共通すること】

社会科は事象や出来事を理解する科目です。理解するためには、必要語句とその意味を覚える必要があります。暗記科目といわれるのはそのためです。しかし、それだけではテストや入試などの問題を解くことはできません。ですから、暗記したことや意味を筋道をたてて記述することが大切になります。このことを考えて授業を受けると、内容の理解度があがります。

【各分野のこと】

～地理～ わからない国名や地名は地図帳を使って調べて位置を確認しましょう。都道府県と県庁所在地(「さいたま市」を除く)は漢字で書けるようになりましょう。

～歴史～ 重要な年号を覚えることは大事です。しかし、難しい場合は出来事の順番で覚えることもポイントの一つです。教科書に載っている資料も重要です。特に仏像や寺院、絵画、人物画など、資料を見て考える問題が多いので、必ず確認しましょう。出来事が起こった場所も教科書に地図がのっていますので、確認することが大事となります。

～公民～ 国会、経済、国際関係などの仕組みを理解することが大切です。そのためには、どういう経緯で物事がなりたったのか、すじみちを通ることが大切です。

【数学】

○ 観点別（A・B・C）学習状況の評価

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	定期テスト、学力診断テスト 小テスト 行動観察	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	定期テスト、学力診断テスト 小テスト、レポート課題 行動観察	A：75%以上 B：30%以上 C：30%未満
主体的に学習に取り組む態度	小テスト、提出物、 レポート課題 行動観察	A：85%以上 B：40%以上 C：40%未満

《ワンポイントアドバイス》

一度自分で解いた問題を、答えを隠してもう一度解く。特に間違えた問題で繰り返し行くと、同じ間違いをしなくなり、自分の力になります。

ワークの答え合わせは丁寧にいき、途中式もその意味を考えて赤書きすると効果的です。

【理科】

○ 観点別（A・B・C）学習状況の評価

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	定期テスト、学力診断テスト 実験レポート作成、実験器具の扱い 小テスト	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	定期テスト、学力診断テスト 実験レポート作成、発表	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	理科ノート or 授業プリント、レポート、 グループ討議、ワーク	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満

《ワンポイントアドバイス》

- ・教科書の太字で書かれている言葉はしっかり覚えましょう。
- ・基本的な計算能力を身につけましょう。
- ・身の回りのことに疑問をもって考えるようにしてみましょう。

【音楽】

○ 観点別（A・B・C）学習状況の評価

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	定期テスト、実技テスト、ワークシート 振り返りシート、提出物、行動観察 など	A： 80%以上 B： 40%以上 C： 40%未満
思考・判断・表現	定期テスト、実技テスト、ワークシート 振り返りシート、提出物、行動観察 など	A： 80%以上 B： 40%以上 C： 40%未満
主体的に学習に取り組む態度	実技テスト、提出物、持ち物、ワークシート 振り返りシート、行動観察 など	A： 80%以上 B： 40%以上 C： 40%未満

【美術】

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	定期テスト 実技（作品作り）、ワークシート、レポート	A： 80%以上 B： 30%以上 C： 30%未満
思考・判断・表現	定期テスト 実技(作品作り)、ワークシート、レポート	A： 80%以上 B： 30%以上 C： 30%未満
主体的に学習に取り組む態度	提出物 ワークシート、発言、行動観察、レポート	A： 80%以上 B： 35%以上 C： 35%未満

【体育】

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	実技テスト（各学期で行った種目。） 筆記テスト（各学期の定期テストを100点満点でつける。）	A：75%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	ラジオ体操、提出物、フォーム点など 集団行動、ランニング、補強 毎回の授業でチェックをつける。 考えて行動できているかチェックする。	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	欠席、遅刻、忘れ物、制服見学 届け出あり体操服見学、提出物 意欲的に頑張ろうとしているのかチェックする。	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満

【技術・家庭科】

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	定期テスト 実習、ワークシート、レポート	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
思考・判断・表現	定期テスト 実習、ワークシート、レポート	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	提出物 ワークシート、発言、行動観察、レポート	A：85%以上 B：40%以上 C：40%未満

【英語】

観点	評価方法	評価規準
知識・技能	・ 文法知識を問う問題（テスト） ・ 長文問題（テスト） ・ Can-Do ・ 小テスト	A：80%以上 B：40%以上 C：40%未満
思考・判断・表現	・ 思考・判断・表現力を問う問題（テスト） ・ 長文問題（テスト） ・ リスニング（テスト） ・ スピーキングテスト ・ 英作文 ・ Can Do ・ 小テスト	A：80%以上 B：35%以上 C：35%未満
主体的に学習に取り組む態度	・ 授業の取り組み（プリント・ノート含む） ・ ワーク ・ Can Do ・ 小テスト	A：85%以上 B：40%以上 C：40%未満

《ワンポイントアドバイス》

- ・ ロイロノートの学習支援箱を活用する。（復習）
- ・ 大阪府が提示している中学校3年間の英単語を計画的に覚える。
- ・ デジタル教科書を家庭学習で活用する。（音読など）
- ・ 進路に向け、英検に挑戦する。（進路に繋がります。）